

異文化間教育学会第45回大会 プログラム

2024年6月22日(土)・23日(日)

金沢大学角間キャンパス

(プレセミナー 6月21日(金) 金沢大学金沢駅前サテライト)

異文化間教育学会 第45回大会ご挨拶

異文化間教育学会第45回大会を、2024年6月22日（土）・23日（日）の両日、金沢大学にて開催させていただくことになりました。金沢大学での異文化間教育学会の開催は初めてとなります。大会準備委員を代表して、心より歓迎を申し上げます。

北陸新幹線開業により東京からのアクセスも向上し、関東、関西、東海いずれからも2～3時間でおいでいただけるようになりました。戦火を経験することがなかった金沢には、江戸の武家屋敷や茶屋街から明治の洋館、昭和レトロな飲み屋街に現代アートな建築までが徒歩圏に共存し、各時代の文化も生活に息づいています。この機会にぜひ街歩きや、豊富で多様な海と山の恵みを活かした食もお楽しみいただければ幸いです。

ただし会場の金沢大学は、街中ではなく兼六園から眺める山の端に位置しています。金沢大学の歴史は1862年に創設された加賀藩の種痘所にさかのぼり、明治期に旧制第四高等学校に、そして戦後に金沢大学へと形を変えてきました。金沢城の中にある大学として記憶されている方もいらっしゃるかもしれませんが、1995年にメインキャンパスが移転し、現在は中心市街地から離れた角間の里山に、全国的にも有数の広大なキャンパスを構えています。春には桜、夏には緑、秋には紅葉、冬には白に染まる自然豊かなキャンパスは、できれば会いたくない野生動物もしばしば出没するものの、国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットと連携して里山里海プロジェクトを展開するなど、市民の自然学習の場にもなっています。スーパーグローバル大学創成支援事業や留学生就職促進プログラムなど、教育研究や人の国際化にも力を入れてきたところですが、四季折々の美しさは留学生にも好評です。

ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、金沢駅から兼六園を経由して金沢大学角間キャンパスへと至るローカルバスの小さな旅も楽しんでいただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

異文化間教育学会第45回大会準備委員会

委員長	岸田 由美
委員	深川 美帆
	眞住 優助
	高沼 理恵
	中村 聡

大会参加者へのご案内

会期・会場

大会会期：2024年6月22日（土）～6月23日（日）

会場：金沢大学角間キャンパス 自然科学本館・大講義棟

※情報交換会：2024年6月22日（土）17:40-19:00

会場：金沢大学角間キャンパス 自然科学系図書館棟2階 YABU&CAFÉ丹

※プレセミナー：2024年6月21日（金）12:30-16:00

会場：金沢大学駅前サテライト 3階多目的ルーム

<プレセミナーと本会場の場所が異なりますので、ご注意ください>

参加資格

会員・非会員を問わず、どなたでもご参加いただけます。

大会参加費・受付

		事前料金 (5月20日まで)	当日料金
大会参加費	正会員	5,000円	6,000円
	学生会員	3,000円	4,000円
	通信会員	5,000円	6,000円
	非会員(一般)	6,000円	7,000円
	非会員(学生)	4,000円	5,000円
	維持会員	1口1名様無料	7,000円
	名誉会員	ご招待	
情報交換会	一般 3,000円、学生会員 2,000円		

※お払い込みいただいた参加費などは理由を問わず返却いたしません。予めご了承ください。

- 領収書は、当日に受付でお渡しいたします。
- 当日参加費をお支払いの方は、釣銭のないようにご準備をお願いいたします。情報交換会は当日参加受付がございませんのでご注意ください。
- 6月22日(土)、23日(日)の午前9時より受付を行ないます。受付にて名札をお受け取りいただき、大会会期中ご着用ください。なお抄録集はPDFでの配布のみとなり、紙面での配布はありません。
- 特定課題研究、公開シンポジウム、個人発表、共同発表、ケース/パネル発表、ポスターセッションの発表者および司会者の方は「発表者・司会者受付」にお越しください。

会場でのWi-Fi接続について

- 会場全域でeduroamが利用できます。eduroamのユーザーIDとパスワードは事前に所属機関で取得・確認の上、ご自身のユーザーID・パスワードで認証してご利用ください。所属機関がeduroamをご利用でない場合は、大会参加者専用アカウントを準備委員会から発行します。受付でお申し出ください。
- 念のため、発表に関わる重要な資料等はあらかじめ発表時にお使いになるパソコンにダウンロードの上、会場にお越しください。

昼食等について

- 会期中、学内の食堂等は営業していません。会場近隣には飲食店やコンビニ（徒歩15分に1カ所あり）はありませんので、昼食は各自ご持参ください。会場内の自動販売機では、飲み物と軽食（パン、菓子、丼物）をご購入いただけます。
- 会場内には昼食や休憩にご利用いただけるフリースペースが随所にごございます。その他に、休憩や荷物置き場にご利用いただける講義室を1室設けますのでご利用ください。

情報交換会

- 6月22日（土）の発表終了後（17:40開始予定）、会場に接続する自然科学系図書館棟2階「YABU&CAFE丹」にて、お食事と飲み物とをご用意して情報交換会を開催いたします。交流の機会としてご活用ください。

託児サービス

- 託児サービス業者に委託し、大会会場の建物内で託児サービスを提供いたします。事前申し込みをいただいた方のみが対象となりますのでご了承ください。申し込み方法などは大会サイトをご確認ください。

連絡先等

- 大会サイト
<http://sample4.wdc-jp.com/iesj/iesj2024/>



- 大会全般・大会当日に関するお問い合わせ
第45回大会準備委員会
e-mail: ibunkakan45@gmail.com

- 参加申込み・お支払いに関する連絡先
異文化間教育学会大会ヘルプデスク
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内
e-mail: iesj-desk@conf.bunken.co.jp
FAX: 03-5227-8632

- 会員登録に関するお問合せ先
異文化間教育学会事務局 会員業務係
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内
e-mail: iesj-post@bunken.co.jp
FAX: 03-5227-8631

大会日程

	6月21日(金) (金沢大学金沢 駅前サテライト)	6月22日(土) (金沢大学角間キャンパス南地区)			6月23日(日) (金沢大学角間キャンパス南地区)	
9:00		9:00-受付(自然科学本館1階)			9:00-受付(自然科学本館1階)	
9:30		9:30-12:00 特定課題研究 「乳幼児期に異文化間で育つとはどういうことか —複層的な視点でとらえる—」 (自然科学大講義棟大講義室 AB)			*9:30-10:30 ポスターセッション(在籍・説明) (自然科学本館1階)	
10:30					10:30-12:10 個人発表・ケース/パネル (自然科学本館1階・2階講 義室)	*10:30- 13:00 ポスターセッ ション (自然科学本 館1階)
12:00	12:00-12:30 プレセミナー受付	12:00- 13:00 昼食	12:00- 13:00 ネットワーキン グ交流会 「ふらっと交流 サロン」 (ワークショップ プ3)	12:00- 13:00 各種委員会	12:00- 13:00 昼食	12:00- 13:00 各種委員会
12:30	12:30-16:00 プレセミナー 「多文化共生とド キュメンタリー演 劇」					
13:00		13:00-14:00 総会 (自然科学大講義棟大講義室 AB)		*13:00- 17:00 ポスターセッ ション (自然科学本 館1階)	13:00-16:00 公開シンポジウム 「地方の産業を支える国際移民:石川県における 受入れ経験から考える」 (自然科学大講義棟大講義室 AB)	
14:00		14:00-17:30 個人発表・共同発表 (自然科学本館1階・2階講 義室)				
16:00						
16:30	16:30-18:30 理事会					
17:40		17:40-19:00 情報交換会 (自然科学系図書館棟2階 YABU&CAFE 丹)				
19:00						

*ポスターセッションのご発表者は2日目9:30~10:30に在籍してご説明をお願いします。1日目13:00~17:00、2日目10:30-13:00のポスターセッションは任意の在籍となります。

会場へのアクセス

【大会会場】金沢大学角間キャンパス 南地区 自然科学本館・自然科学大講義棟
(〒920-1192 金沢市角間町)

路線バス

金沢駅や中心市街地から会場には北陸鉄道バス93、94、または97番の「金沢大学行き(兼六園下経由)」をご利用いただき、「金沢大学自然研前」で降りて下さい。駅からの所要時間は約40分です。バスロータリー奥の建物にそって右手に進み、自然科学本館正面玄関からご入館ください。

■ 主な乗り場

「金沢駅」：金沢駅兼六園口(東口)8番乗り場。

「武蔵ヶ辻・近江町市場」：2番乗り場(いちば館前)

「香林坊」：1番乗り場(金沢市役所向かい側)

「兼六園下・金沢城」：4番乗り場



http://www.hokutetsu.co.jp/tourism-bus/route_stop

■ 時刻表(「93・94・97 金沢大学線」をご覧ください)

http://www.hokutetsu.co.jp/route_timetable



大会当日は臨時便を運行いたします。臨時便の時刻表は大会抄録集及び大会ホームページでご案内いたします。

タクシー

「金沢大学自然研前」までご利用ください。

■ タクシー配車アプリ「GO」のご利用が便利です。



App Store



Google Play

■ その他 金沢個人タクシー協同組合 無線配車センター 076-291-5611 兼六笠舞タクシー株式会社 0120-612320

自家用車

大会期間中「E駐車場」及び「仮あ駐車場」をご利用いただけます。「仮あ駐車場」に駐車の場合は、駐車場に面した自然科学3号館1階の正面玄関から入館し、右手突き当たりのドアから自然科学本館にお進み下さい。駐車中は大会参加者専用の駐車許可証の掲示が必要です。駐車許可証は、以下のリンクから利用申込フォームにご入力いただくとダウンロードできます。ダウンロードした駐車証をご自身で印刷の上、駐車中は車内のよく見える場所に掲示してください。

<https://forms.gle/WIbNAcvMgWvqvwwNA>



【プレセミナー会場】金沢大学金沢駅前サテライト

(住所:金沢市広岡1丁目2番20号 Mビル 3階)

JR金沢駅金沢港口(西口)からハイアットセントリック(クロスゲート)金沢を右手に見て徒歩4分(約300m)です。建物左手の入口から入って奥のエレベーターで3階に上がってください。

金沢大学角間キャンパス 南地区

会場には「自然科学本館」(S1)及び「自然科学3号館」(S5)の正面玄関からのみ入館可能です。他の出入り口は閉鎖されていますのでご注意ください。



- S1** 【自然科学本館】1階 受付・自由研究発表、2階 自由研究発表
- S2** 【自然科学系図書館棟】2階 情報交換会
- S5** 【自然科学3号館】仮あ駐車場からの入館径路
- S14** 【自然科学大講義棟】特定課題研究・総会・シンポジウム

金沢大学 金沢駅前サテライト



会場案内

6月21日(金)

プレセミナー	12:30-16:00(受付12:00-)	金沢大学金沢駅前サテライト 3階
理事会	16:30-18:30	金沢大学金沢駅前サテライト 3階

6月22日(土)

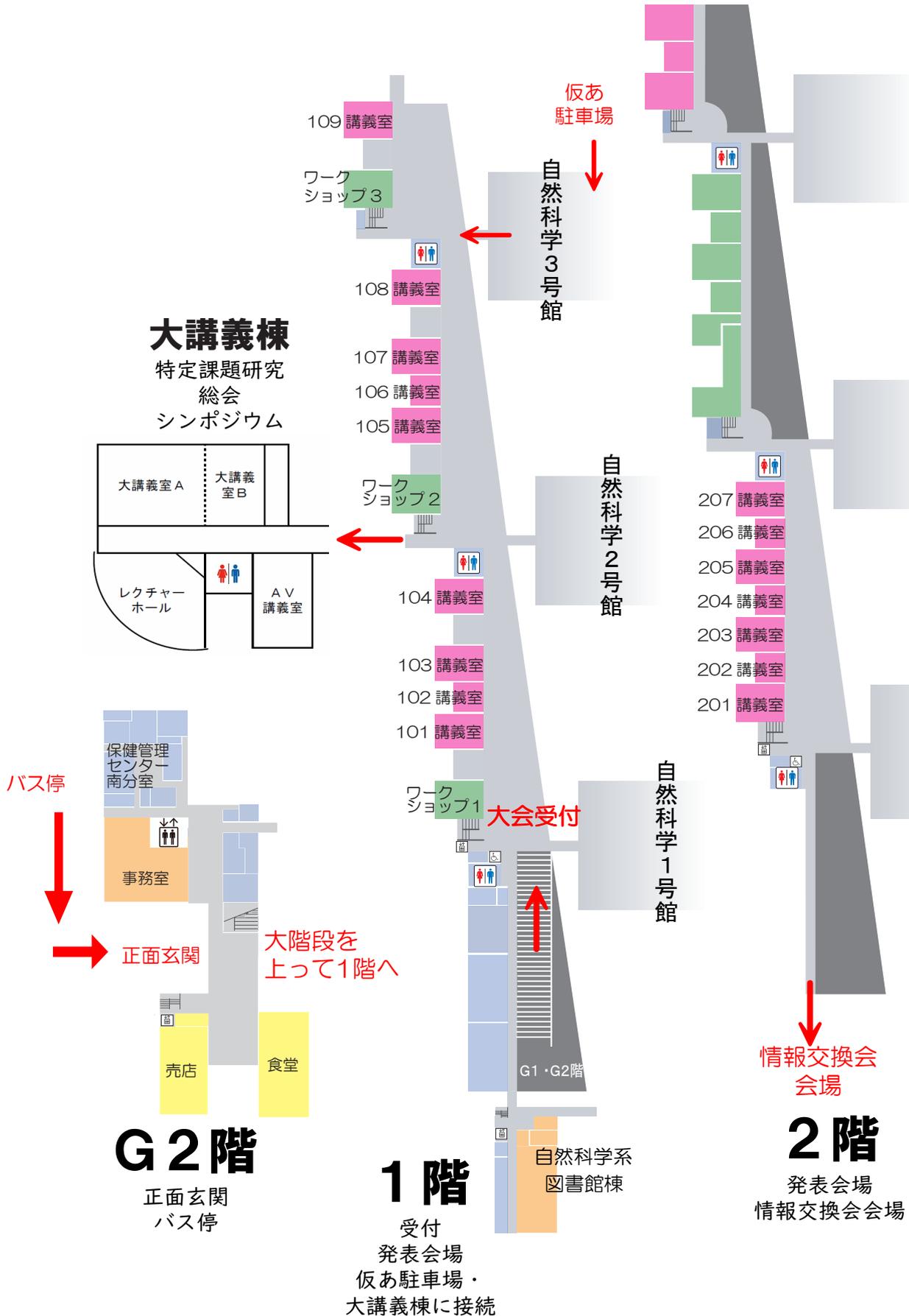
受付	09:00-	自然科学本館1階大階段付近
特定課題研究	09:30-12:00	自然科学大講義棟 大講義室AB
ネットワーキング交流会	12:00-13:00	ワークショップ3
各種委員会		
研究委員会	12:00-13:00	101
学会誌編集委員会	12:00-13:00	103
企画委員会	12:00-13:00	104
グローバル展開委員会	12:00-13:00	107
将来構想委員会	12:00-13:00	105
総会	13:00-14:00	自然科学大講義棟 大講義室
ポスターセッション	13:00-17:00	AB 自然科学本館1階
個人発表	14:00-17:30	101~107
共同発表	14:00-17:30	108, 201, 203
情報交換会	17:40-19:00	自然科学系図書館棟2階 YABU&CAFE丹

6月23日(日)

受付	09:00-	本館1階大階段付近
ポスターセッション	09:30-13:00	自然科学本館1階
個人発表	10:30-12:10	101~107
ケース/パネル発表	10:30-12:00	108, 201, 203
各種委員会		
学会誌編集常任委員会	12:00-13:00	202
ネットワーキング委員会	12:00-13:00	204
学会論文賞選考委員会	12:00-13:00	ワークショップ3
公開シンポジウム	13:00-16:00	自然科学大講義棟 大講義室AB
大会本部	09:00-18:00	102
学会本部	09:00-18:00	106
書籍展示	22日 09:00-18:00	自然科学本館1階
	23日 09:00-16:00	自然科学本館1階
休憩室・クローク*	22日 09:00-18:00	ワークショップ1
	23日 09:00-16:30	ワークショップ1
託児室	22日 09:00-18:00	206
	23日 09:00-16:30	206

*クロークに担当者はつきません。荷物の管理は各自でお願いいたします。貴重品等は必ずお持ちください。

自然科学本館講義室等案内図



プレセミナー

多文化共生とドキュメンタリー演劇

【日時】2024年6月21日（金） 12:30-16:00（受付開始12:00～）

【場所】金沢大学金沢駅前サテライト 3階 多目的ルーム

2024年度の異文化間教育学会プレセミナーでは「ドキュメンタリー演劇」についてのセミナーを行います。非日常・非現実の世界へ観客を引き込もうとする演劇とは逆に、ドキュメンタリー演劇は、日常の現実の再発見や再認識を促します。プレセミナーでは、ドキュメンタリー演劇の制作実践を通して、多文化の日常でマイノリティー/マジョリティーの他者が覚えるさまざまな違和感や、多様な人々が経験する現実の出来事の多面性を、再発見・再認識していくことを目指します。

今回はテーマをmigration（〔移民/難民の〕移住）とします。参加者間での、次のような経験についての情報/意見交換をもとに進行する予定です。

- 日本国外で（留学等で）暮らしたことがある
- 日本国外からやってきて暮らしている人たちと交流がある/あった
- 日本国外にルーツを持っている
- 日本国外にルーツを持っている人たちと交流がある/あった

【講師】萩原 健（はぎわら けん） 明治大学国際日本学部教授

明治大学国際日本学部教授。博士（文学）。専門は現代ドイツ語圏の舞台芸術、および関連する日本の舞台芸術。著書に『演出家ピスカートアの仕事——ドキュメンタリー演劇の源流』（2017）、共訳にフィッシャー＝リヒテ『パフォーマンスの美学』（2009）ほか。研究と並行して、ドイツ語圏の劇団の来日公演ほかで稽古場通訳や字幕の翻訳・制作・操作等も務める。

参考資料：萩原 健（2023）「ドキュメンタリー演劇と/の日常」明治大学広報誌『明治』97号「研究最前線」（pp. 34-35）

【ファシリテーター】岸磨貴子（明治大学）、川島裕子（関西大学）

【プログラム】

12:30-13:00	ウォーミングアップ（インプロ）
13:00-14:00	ドキュメンタリー演劇とは？／多文化共生とドキュメンタリー演劇
14:00-15:30	ワークショップ
15:30-16:00	全体振り返り

【参加条件】学会員のみ可

【募集人数】25名（定員になり次第、先着順にて締め切らせていただきます。）

【プレセミナー参加費】正会員・通信会員・維持会員 3,500円、学生会員 3,000円

【申込み方法】大会HPの参加申込 Conference Registrationよりお申込みください。

【申込み問い合わせ先】

異文化間教育学会第45回大会ヘルプデスク

e-mail：iesj-desk[at]conf.bunken.co.jp（[at]を@に変えて下さい）

【企画】

異文化間教育学会事務局

iesj[at]meiji.ac.jp（[at]を@に変えて下さい）

特定課題研究

乳幼児期に異文化間で育つとはどういうことか —複層的な視点でとらえる—

【日時】 2024年6月22日（土）9:30～12:00

【場所】 金沢大学角間キャンパス 自然科学大講義棟 大講義室AB

2024年度の特定課題研究テーマは「乳幼児期に異文化間で育つとはどういうことか—複層的な視点でとらえる—」である。本年度も発表者を公募し、多くの会員から応募をいただいた。本テーマへの貢献や研究方法・内容のバランスなどを念頭に審査を行い、登壇者を選出した。本大会にて会員の皆様と活発な議論をし、今後の更なる展開を共に検討する契機としたい。

【趣旨】

日本では1990年代頃から外国につながる乳幼児を対象とする研究が始まり、主に家庭内や保育所・幼稚園等での子どもの育ちに焦点を当てた研究がなされてきた。しかし、乳幼児期にはこうした場に加え、様々なところで様々な人々と関わりながら子どもは育っていく。そこで、本年度は「乳幼児期に異文化間で育つとはどういうことか—複層的な視点でとらえる—」をテーマとして設定する。

こども基本法が2022年6月に成立し2023年4月施行、こども家庭庁が発足した。これにより、児童の権利に関する条約の理念に基づき、ようやくすべての子どもの権利を守る法体系が整備されたところである。「すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと」の「すべてのこども」には、外国につながる乳幼児も含まれている。

本特定課題研究では、これまで異文化間教育学会であまり取り上げられてこなかった、乳幼児期の子どもの育ちを支える人や場にも焦点を当て、乳幼児期の子どもの育ちについて複層的に検討したい。具体的には、子どもとその家族、家族を支える人（保育者、子育て支援に携わる人、保健師等）、子育て支援の場（子育て広場、子育て支援センター、保健センター、医療機関、児童福祉施設、産前産後のサービス、自助グループ、図書館、役所、国際交流協会等）、幼児教育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）等が挙げられる。ここに示されていない人、場、施設についても、テーマに沿うものであれば対象とする。

AIが発達し人と人とのつながり・かかわりのあり方が変化していく現在の日本社会で、乳幼児期に異文化間で育つということについて、子ども、保護者、家族に出会う地域の人たち、医療従事者、支援者等様々な立場の視点から、取り上げていくことを想定している。

【趣旨説明】 佐藤千瀬（聖学院大学）

【登壇者】 内田千春（東洋大学）

長江侑紀（東京大学大学院教育学研究科）

田尻由起（昭和女子大学）

【指定討論者】 塘利枝子（同志社女子大学）

【企画・運営：研究委員会】

佐藤千瀬（聖学院大学）

内田千春（東洋大学）

小松 翠（東京工業大学）

山田亜紀（玉川大学）

由井一成（早稲田大学）

公開シンポジウム

地方の産業を支える国際移民 —石川県における受入れ経験から考える—

【日時】 2024年6月23日（日）13:00～16:00

【場所】 金沢大学角間キャンパス 自然科学大講義棟 大講義室AB

【共催】 金沢大学

人口減少時代を迎えた日本では外国人材の積極的な受入れが政策課題となり、地方の産業においては技能実習生をはじめとする移民労働者が着実に増加している。地方経済における外国人材の重要性は今後一層高まることが予想されるが、その受入れの実情や課題が社会で共有されているとは言い難い。このシンポジウムでは、人手不足が顕著な製造業、漁業、介護分野で移民労働者を受入れる石川県の団体や、そうした分野で活躍する定住外国人の経験から、地方産業における国際移民受入れの現状の一端を明らかにするとともに、地方の産業を支える人材育成のあり方や、受入れ社会に求められる変化について検討する。

※非会員の一般・学生の皆様のシンポジウムだけのご参加も歓迎いたします（参加費無料）。当日会場入口で受付をお願いいたします。

【プログラム】

総合司会・趣旨説明 岸田 由美（金沢大学）

第1部 導入：石川県における移民受入れの概況

眞住 優助（金沢大学）

上林 千恵子（法政大学）

第2部 現場からの報告

製造業界 高田 勝（北陸ロードサービス事業協同組合、石川県外国人技能実習生受入団体協議会）

水産業界 島本 卓（石川県漁業協同組合）

介護業界 バルベイド ヒクマ（株式会社You-I Japan）

王 逸飛（株式会社イーアイル）

第3部 パネルディスカッション

登壇者全員

指定討論者 上林 千恵子

第4部 全体質疑・討論

登壇者・来場者全員

ネットワーキング交流会

異文化間教育学会ネットワーキング交流会「ふらっと交流サロン」

2024年度異文化間教育学会でも、ネットワーキング委員会の企画として、学会参加者の皆様のネットワーキングのための交流会「ふらっと交流サロン」を開催します。気軽に「ふらっと」立ち寄れる、参加者同士の「フラット」な交流のための企画です！

集まった参加者の皆さん同士で、気軽に話し合い、横のつながりを広げてみませんか。情報共有をしたり、研究・実践につながるネットワーク構築の場になればと考えています。参加にあたってのご準備は不要で、好きなタイミングでご参加いただけます。せっかくの機会なので他の大会参加者と気軽に交流してみたいという方、学会大会への参加経験が浅く知り合いが少ない方、この時間帯に予定が空いていて特にすることがない方など、大歓迎です。当日はお互いの自己紹介を中心に、異文化間教育に関する研究や教育実践、やりがいやお悩みなど、気軽に自由に話せる時間を準備します。

また、同日19:30から、金沢駅周

辺にて「ふらっと夜の懇親会」を開催します。お昼の「ふらっと交流サロン」に参加していただいた方も、参加できなかった方も、「フラット」な交流のための夜の懇親会にぜひご参加ください。初めての方でも気軽にお話していただけるような工夫をする予定です。（なお、飲食代が1人あたり4000円程度かかる見込みです）

人数把握のため、交流会参加希望者は以下のリンクからそれぞれのイベントの参加登録をお願いします。

（定員に空きがある場合は飛び入りでの参加も可能ですが、原則として、事前登録をお願いします。なお、夜の懇親会は事前登録が必要です。）

1. ふらっと交流サロン

申し込みフォーム <https://forms.gle/xFXGzKH7UWbD9qBi7>



開催日時：6月22日（土）12:00-13:00

場所：金沢大学角間キャンパス 自然科学本館1階 ワークショップ3

プログラム（案）：（参加者数によって内容が変更になる可能性があります）

12:00 - 12:05	開会挨拶・趣旨説明
12:05 - 12:25	小グループで交流①
12:25 - 12:30	名刺交換タイム・席移動
12:30 - 12:50	小グループで交流②
12:50 - 12:55	名刺交換タイム
12:55 - 13:00	アンケート記入・閉会挨拶

2. ふらっと夜の懇親会

申し込みフォーム <https://forms.gle/cPMtdhE2TyvnNPcQ7>



開催日時：6月22日（土）19:30-21:30（予定）

- ★ 大会の情報交換会に参加される方は、懇親会の開始時間に合わせて、金沢駅周辺に向けて移動をお願いいたします。

場所:金沢駅周辺(具体的な場所は追ってご案内します)

懇親会参加費:4000円前後

定員:20名程度(定員に達し次第締め切ります)

締切:5月17日(金)

〈企画・運営(五十音順)〉

異文化間教育学会 ネットワーキング委員会

岩淵和祥(東京大学)

新見有紀子(東北大学)

高木ひとみ(名古屋大学)

平井達也(明治大学)

藪田直子(大阪教育大学)

発表について

研究発表は以下の種別で行なわれます。発表者、題目、時間帯、会場などの詳細は、それぞれの部会のページをご覧ください。

個人発表 共同発表 ケース／パネル発表 ポスターセッション

1. 発表時間

- A. 個人発表 30分(発表20分、質疑応答10分)
- B. 共同発表 60分(発表40分、質疑応答20分)
- C. ケース／パネル発表 90分(発表50分、質疑応答40分)
- ※ 会場での運営は、各グループでお願いいたします。
参加者による質疑応答の時間を確保するようご配慮ください。
- D. ポスターセッション 6月22日(土)13:00-17:00、6月23日(日)09:30-13:00
- ※ ポスター掲示作業は6月22日(土)12:00から行えます。ポスターは22日(土)13:00から23日(日)13:00まで掲示してください。その後各自で14時までにポスターを撤去してください。撤去されないポスターは事務局で処分いたします。
- ※ 23日(日)09:30-10:30の時間帯は必ず在席してください。その他の時間の在席は任意です。
- ※ ポスターのサイズは縦160センチ、横105センチの範囲でご準備下さい。

2. 配布資料

紙の資料配布は必要ありませんが、もし配布を希望される場合は1発表につき30部程度ご用意ください。優秀発表賞にエントリーされた方は、「発表時の配布資料」も評価・審査対象となりますのでご用意ください。なお、大会準備委員会では印刷をお受けすることはできません。また会場では印刷機をご利用いただけません。ご了承ください。

デジタルデータでの資料配布をご希望の発表者の方向けに大会準備委員会で専用クラウドフォルダを設ける予定です。詳細はご発表者及び大会参加者の皆様に後日ご案内いたします。

3. 発表に使用する機器等について

- ・ 発表に用いるPCは発表者が各自でお持ち下さい。研究発表会場にプロジェクターを用意しております。プロジェクター接続ケーブルの端子はVGA(RGV)またはHDMIとなります。アダプターが必要な方は各自でご用意ください。
- ・ ご発表のセッションが始まる前に各自動作確認等を行って下さい。
- ・ 機材の設定および操作は発表者ご自身で行ってください。
- ・ 会場全域でeduroamが利用できます。eduroamのユーザーIDとパスワードは事前に所属機関で取得・確認の上、ご自身のユーザーID・パスワードで認証してご利用ください。所属機関がeduroamをご利用でない場合は、大会参加者専用アカウントを準備委員会から発行します。受付でお申し出ください。
- ・ 英語セッションにおける海外在住の共同発表者のみオンライン発表が認められています。オンライン発表についても各自のPCを用い、Web会議ツールも各自で設定して下さい。

4. 発表者欠席の場合

- ・ やむを得ない事情により発表者が欠席する場合には、できるだけ前日までに大会準備委員会宛にメールでご連絡ください。

※第45回大会準備委員会 e-mail: ibunkakan45@gmail.com

- ・ 発表取りやめがあっても、プログラムの繰り上げはいたしません。

「優秀発表賞」について

異文化間教育学会事務局

異文化間教育学会では、異文化間教育学の発展を期して、会員の研究発表を奨励し、研究発表の向上を図ることを目的として、「優秀発表賞」を設けています。この賞は、若手の研究者を対象とし、当該大会における「個人研究の個人発表」の中から、優秀と評価された発表に与えられるものです。

下に示す規程にあるとおり、優秀発表賞の審査を受けるためには、発表者自身が受賞資格の条件のいずれかに該当することを申告し、審査対象となる意思を表明する必要があります。発表申し込み時に、優秀発表の審査の希望の有無を、大会HP上の「個人発表申し込み」の欄で選択してください。個人発表申し込み締切り後、必要に応じて、事務局より確認のためのメールをお送りすることがございます。

受賞資格を有する皆さん、審査への積極的なお申し出をお待ちしております。なお、優秀発表賞の選考方法（選考の手続き、審査対象・審査基準）については、下記の規定と併せて学会HPをご覧ください。

異文化間教育学会優秀発表賞規定

1. 名称： 異文化間教育学会「優秀発表賞」と称する。
2. 趣旨： 若手の研究者を表彰し、研究発表の奨励、研究内容の向上を図ることを目的とする。
3. 表彰人数： 表彰人数は若干名とする。
4. 対象者： 大会における個人研究の個人発表者で、受賞資格を有する者※とする。
5. 選考方法： 優秀発表賞審査委員会を設置し、審査委員会による選考後、理事会の承認を得て決定する。
6. 審査委員会： 優秀発表賞審査委員会は、研究委員会委員長の指名により理事（研究委員会委員長を含む）で構成する。任期は1年とする。審査委員会は、選考方法に従って優秀発表賞受賞者の選考を行い、その結果を理事会に諮る。
7. 結果の公表・表彰： 審査結果は学会ホームページを通じて公表する。また、大会で表彰し、副賞を与える。
8. 本規定は、会則第9条に基づき理事会が定めるものとする。
9. 本規定は、2013年12月7日より発効する。

受賞資格

発表者が応募時に以下のいずれかに該当する場合、受賞資格を有するものとする。

- ・大学院修士課程もしくは大学院博士課程に在学中である。
- ・修士課程修了後10年以内である（複数の修士課程を修了した場合は、最後に修了した修士課程が対象）。
- ・最終学歴が学部卒業の場合は、卒業後12年以内である。
- ・修了後の期間は、修了・卒業月の末日を修了日として起算する。例えば、大学院修士課程修了者で、3月修了の場合は、3月31日を修了日として、10年後の3月31日までが受賞資格を有する期間とする。

優秀発表賞の審査を受けるためには、発表者自身が上記条件のいずれかに該当することを申告し、審査対象となる意思を表明する必要がある。

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月22日(土) 異文化適応

司会：浅井亜紀子（桜美林大学リベラルアーツ学群）

会場：101

- 14:00—14:30 外国人研究者の日本語学習経験—日本語使用と学習動機に着目して—
猿田静木（広島大学人間社会科学研究科）
- 14:35—15:05 外国学位を有する中国大学教員の逆カルチャーショックに関する研究
—日本留学経験者の事例を中心に—
王宗成（鹿児島大学大学院人文社会科学研究科）
- 15:10—15:40 子育て期滞日外国人ムスリム女性の異文化適応
工藤昭子（国際武道大学）

個人発表 6月22日(土) 異文化適応

司会：工藤昭子（国際武道大学）

会場：101

- 15:50—16:20 日本の高校で学んだ中国人留学生における学級集団への帰属意識と
異文化適応の関連
王心蕊（創価大学）
- 16:25—16:55 中国移民の母親が持つ不安と保育者の意識の検討
—園とのやり取りの中で生起する不安に着目して—
倪琳林（東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻）
- 17:00—17:30 国際移動準備における意思決定：インドネシア人海外労働希望者の事例より
浅井亜紀子（桜美林大学リベラルアーツ学群）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月22日(土) 異文化理解

司会：高松美能(東北大学)

会場：103

- 14:00—14:30 短期留学が大学生のコンピテンシー自己認識に与える影響
中村絵里(千葉大学)
- 14:35—15:05 課外活動における国際共修の可能性 —事例分析をもとに—
ロッター美子(鹿児島大学大学院人文社会科学研究科)
- 15:10—15:40 「私の日本人の友人は、日本人らしくない」
—中国人留学生の日本人に対する評価および調整行動—
勝田順子(志學館大学)

個人発表 6月22日(土) 異文化理解

司会：勝田順子(志學館大学)

会場：103

- 15:50—16:20 多文化共生と人権教育
—大学の国際共修授業で取り上げる学習テーマとは—
高松美能(東北大学)
- 16:25—16:55 演劇ワークショップは学習者の多様性をどのように出現させるのか
—一定時制高校の教師らからみた学びの場の特徴—
川島裕子(関西大学)
- 17:00—17:30 データ生成の手法としてのポッドキャスト
—多文化ファシリテータとしての学生の省察を事例として—
岸磨貴子(明治大学)

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月22日(土) 外国人児童生徒

司会：高梨宏子（東海大学総合教育センター）

会場：104

- 14:00—14:30 在日中国朝鮮族子どもの学習言語の決定構造
—関東地域の小学校在生を中心に—
蔡光華（東京学芸大学）
- 14:35—15:05 GLD 児を受け持つ担任教師が直面する課題と課題発生時の対応
—当事者の語りから構成される現実—
矢作菜月（武蔵野大学大学院言語文化研究科言語文化専攻）
- 15:10—15:40 日本語指導に関する校内連携
竹内陽介（立命館大学 OIC 総合研究機構）

個人発表 6月22日(土) 外国人児童生徒

司会：竹内陽介（立命館大学 OIC 総合研究機構）

会場：104

- 15:50—16:20 母語支援員制度の形成過程に関する比較研究
—移民集住／散在地域の議会議事録を事例に—
山脇佳（中京大学大学院）
- 16:25—16:55 母語を活用した教科学習支援における協働の検討
高梨宏子（東海大学総合教育センター）

個人発表 6月22日(土) 留学生

司会：竹内陽介（立命館大学 OIC 総合研究機構）

会場：104

- 17:00—17:30 ピア・サポートをもちいた留学生支援の利点と課題
—学生サポーターに対する調査から—
渡部留美（東北大学グローバルラーニングセンター）

個人発表 6月22日(土) 多文化教育

司会：青木香代子（茨城大学）

会場：ワークショップ2

- 14:00—14:30 教室内の多文化共生に向けた試み
—教員の自己開示が学生にもたらす変化と多様性理解—
東山志帆（横浜市立大学大学院）
- 14:35—15:05 特別支援学級と多文化共生教育
—教科横断型「世界の音楽」の実践やOJTからの考察—
藤川純子（四日市市立内部中学校）
- 15:10—15:40 A県B市の定住外国人の日本語会話力と言語生活に関する縦断研究
—調査結果と周辺参加、十全参加の過程、変容を省察しながら—
野山広（国立国語研究所）

個人発表 6月22日(土) 多文化教育

司会：野山広（国立国語研究所）

会場：ワークショップ2

- 15:50—16:20 継承語としての琉球語教育—しまくとぅば普及センターの取り組み
田中真奈美（東京未来大学モチベーション行動科学部）
- 16:25—16:55 異文化間教育としての多様な学生間の相互ライフストーリーインタビュー実習
村田晶子（法政大学）
- 17:00—17:30 アメリカにおける社会正義のための教師教育の課題
—特権性と抑圧の脱構築から行動を目指す視点—
青木香代子（茨城大学）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月22日(土) マイノリティ

司会：谷口ジョイ（静岡理科大学）

会場：105

14:35—15:05 台湾の日本人学校における台湾につながる子どもたちのアイデンティティ交渉
澁谷優子（筑波大学大学院 人間総合科学学術群 人間総合科学学術院 教育学学位プログラム）

15:10—15:40 カナダ アルバータ州のグローバル・シティズンシップ教育
～社会科新カリキュラムにおける先住民教育を中心に～

由井一成（早稲田大学）

個人発表 6月22日(土) マイノリティ

司会：由井一成（早稲田大学）

会場：105

15:50—16:20 在日ブラジル人の継承語保持・伸長に関わる要因
—「家庭での取り組み」に焦点を当てて

谷口ジョイ（静岡理科大学）

16:25—16:55 日韓の移民系児童生徒の教育政策比較研究

竹内愛（共愛学園前橋国際大学）

17:00—17:30 複合的マイノリティ学生支援と当事者実態の乖離
—LGBTQ+学生支援と留学生支援の狭間に立つクィア留学生—

澤田彬良（筑波大学大学院）

個人発表 6月22日(土) 英語による発表

司会：徳永智子（筑波大学）

会場：107

~~14:00—14:30~~ ~~A Preliminary Test of an Equivalent Culture Concept-based Model of~~
~~Intercultural Competence: Filial piety in Mandarin Chinese (孝顺) and Japanese (孝行)~~
~~Fan Yang (Kyoto University, Graduate School of Human and Environmental Studies)~~

発表取消

14:35—15:05 Teaching Culture as Manners
 : Teaching Cross-cultural Communicative Competence in ESL
 Omi Jun (Tokyo Keizai University)

15:10—15:40 Effects of a Short-term Integrated Language and Cultural Learning Project in
 Australia on Pre-service Teachers of English
 Masako Sasaki (Akita University)

個人発表 6月22日(土) 英語による発表

司会：塚田英恵（一橋大学）

会場：107

15:50—16:20 Rethinking Foreign Language Education in Japanese Elementary Schools
 : Insights from Student Surveys and Practices
 Ozeki Hayumi (Tamagawa University)

16:25—16:55 The Academic Journey of English-Speaking International Students in Japan
 : Challenges, Strategies, and Success
 Yan Wanxin (Tohoku University)

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月23日(日) コミュニケーション

司会：吉田千春（中央大学）

会場：101

- 10:30—11:00 VR空間における異文化理解のための遠隔ディスカッションについて
—メタバース上でのコミュニケーションの様相と教育への可能性—
深川美帆（金沢大学 国際機構）
- 11:05—11:35 BEVI を用いたレジデント・アシスタントの客観的評価
吉田千春（中央大学）

個人発表 6月23日(日) 日本語教育

司会：斎藤敬太（跡見学園女子大学）

会場：103

- 10:30—11:00 少数民族を日本語授業で取り上げるということ
～アイヌを題材とした日本語学校の実践と省察
萩原秀樹（インターカルト日本語学校）
- 11:05—11:35 日本企業に就職した外国人建設技術者の変化過程
—建設系大学院英語プログラム出身者の事例に基づいて—
柴山俊也（千葉大学大学院）
- 11:40—12:10 東北地方在住のベトナム人を対象とした方言理解支援ツールの開発
斎藤敬太（跡見学園女子大学）

個人発表 6月23日（日） 外国人児童生徒

司会：相磯友子（植草学園短期大学）

会場：104

- 10:30—11:00 境界的法的地位にあるトルコ国籍クルド人生徒の進路の物語
—一定時制高校から専門学校への移行経験—
上原菜緒子（東京大学大学院 教育学研究科）
- 11:05—11:35 中国系移民第2世代の進路意識形成
—若者の「移住に関する物語」に着目して—
王梓昂（筑波大学大学院教育学学位プログラム）
- 11:40—12:10 ベテラン日本語指導教員は外国人児童とどのような関係を築いているか
相磯友子（植草学園短期大学）

個人発表 6月23日（日） 多文化教育

司会：平井達也（明治大学国際日本学部）

会場：ワークショップ2

- 10:30—11:00 多文化的な文学教育の構築に向けて
—culturally responsive teaching（文化に対応した教育）を視座として—
ブラッドリー桜ミシェル（東海中学校・東海高等学校）
- 11:05—11:35 男性の「生きづらさ」に向かい合う—セルフスタディからの気づき
齋藤真宏（旭川市立大学経済学部）
- 11:40—12:10 社会人を対象としたグローバルリーダー育成プログラムの開発
平井達也（明治大学国際日本学部）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表 6月23日(日) 留学生

司会：カースティ祖父江（日本福祉大学）

会場：105

10:30—11:00 国際教育交流における「人種」「人種主義」を考える

塚田英恵（一橋大学）

11:05—11:35 「分かったフリ」を巡る感情

—在日留学生が経験する言語不安の解消を目指して—

カースティ祖父江（日本福祉大学）

個人発表 6月23日(日) 英語による発表

司会：渡部由紀（東北大学）

会場：107

10:30—11:00 Motivations of Non-Native English-Speaking Doctoral Students for Publishing in English

Wenjuan Cheng (Hiroshima University)

11:05—11:35 To Be Vaccinated or Not To Be or Is It Even a Choice?

: Classification of People's Attitudes towards Vaccination.

Kazuaki Iwabuchi (The University of Tokyo)

共同発表 6月22日(土)

司会：齋藤ひろみ(東京学芸大学)

今泉智子(山形大学)

会場：201

- 14:00—15:00 地域日本語教育専門人材養成講座修了者の異文化に対する意識の変容
 今泉智子(山形大学)
 内海由美子(山形大学)
 嶋ちはる(国際教養大学)
 仁科浩美(山形大学)
 松岡洋子(岩手大学)
- 15:10—16:10 ダブルルーツの人たちの居場所
 —(文化的)アイデンティティと Well-being を視野に(仮題)
 鈴木一代(埼玉純真短期大学)
 高橋順子(クリスチャン・アカデミー・ジャパン)
- 16:20—17:20 高等学校における「特別の教育課程」の実施状況
 —制度的特性と学校特性による制度の実装化の違いに着目して—
 齋藤ひろみ(東京学芸大学)
 米本和弘(東京学芸大学)
 河野俊之(横浜国立大学・教育学部)
 見世千賀子(東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ)
 小西円(東京学芸大学)
 啓子谷(東京学芸大学 人文社会科学系 日本語・日本文学研究講座 日本語教育学分野)
 市瀬智紀(宮城教育大学)
 原瑞穂(上越教育大学)

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

共同発表 6月22日(土)

司会：青木麻衣子(北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部)

堀江未来(立命館大学)

会場：203

14:00—15:00 初等教育段階における「多様性を学ぶ」国際教育の事例研究
—小学生と大学生の多文化間共修を通して—

堀江未来(立命館大学)

三ツ木由佳(立命館小学校)

15:10—16:10 言語教育とダイバーシティ教育の視点を融合する
「ミニ・ヒューマンライブラリー」の試み

福村真紀子(茨城大学大学院)

本間祥子(千葉大学大学院国際学術研究院)

16:20—17:20 各国の大学における合理的配慮を必要とする学生への支援体制

青木麻衣子(北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部)

鄭惠先(北海道大学・高等教育推進機構)

共同発表 6月22日(土)

司会：小嶋緑(東北大学)

小林聡子(千葉大学)

会場：108

- 15:10—16:10 日本人学校の教育実践における複言語主義的アプローチの模索-メキシコを事例に-
- 小林聡子(千葉大学)
- 見世千賀子(東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ)
- 菅原雅枝(愛知教育大学)
- 加藤香代(ユナイテッドスクールオブトウキョウ)
- 高橋奈々(東京学芸大学大学院教育学研究科)

- 16:20—17:20 What works in promoting DEI in research cultures and environments?
: Enablers and barriers faced by academic staff in Japan and the UK.
- Midori Kojima (Tohoku University)
- Kazuko Suematsu (Tohoku University)
- Yuki Watabe (Tohoku University)
- Lynn Ang (UCL Institute of Education)
- Catherine Fox (UCL Institute of Education)

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

ケース／パネル発表 6月23日(日)

会場：108

10:30—12:00 「海外子女教育研究」をひらく：多領域との接続可能性

共同発表者	渋谷真樹（日本赤十字看護大学）
共同発表者	瀬尾悠希子（茨城大学）
共同発表者	高橋薫（東京大学大学院教育学研究科）
共同発表者	芝野淳一（中京大学現代社会学部）
ディスカッサント	澁谷優子（筑波大学大学院）
ディスカッサント	山田亜紀（玉川大学）
ディスカッサント	小林聡子（千葉大学）
司会者	岡村郁子（東京都立大学）

ケース／パネル発表 6月23日(日)

会場：201

10:30—12:00 差別・偏見の社会構造を考える大学教育の可能性
—「異文化理解」を超えて

共同発表者, 司会者	久志本裕子（上智大学）
共同発表者	出口真紀子（上智大学外国語学部英語学科）
ディスカッサント	渋谷恵（明治学院大学心理学部）

ケース／パネル発表 6月23日(日)

会場：203

10:30—12:00 日本の高等教育における国際共修ルーブリックとその活用

共同発表者	末松和子（東北大学高度教養教育・学生支援機構）
共同発表者	村田晶子（法政大学）
共同発表者	米澤由香子（東北大学）
共同発表者	高松美能（東北大学）
共同発表者	渡部留美（東北大学グローバルラーニングセンター）
共同発表者	新見有紀子（東北大学）
共同発表者	小嶋緑（東北大学グローバルラーニングセンター）
ディスカッサント	北出慶子（立命館大学文学部）
司会者	湊洵菜（東北大学）

ポスター発表

6月22日：13:00-17:00

6月23日：9:30-13:00

会場：自然科学本館1階

ポスターセッションのご発表者は2日目9:30~10:30に在籍してご説明をお願いします。
1日目13:00~17:00、2日目10:30-13:00のポスターセッションは任意の在籍となります。

01. Creating Opportunities to Think about Multicultural Japan through an Australian Studies Course: An Example of Curriculum Design for Intercultural Education

Kristen Sullivan (西南女学院大学)

02. Badge Up! Translating Study Abroad Learning into Expressing Excellence

Yuka Jibiki (University of the Sacred Heart, Tokyo)

03. COIL 教育における教師間の関係性構築：対話リフレクションの可能性

山下美樹 (麗澤大学)

04. 「コミュニケーション」って何？—「コミュニケーション理論」の学問的背景から—

久保田真弓 (関西大学)

05. トランスナショナルな難民の支援構築—ウクライナ避難民の支援事例を通して—

浅野明莉 (明治大学)

06. 台湾の日本語専攻生のキャリア動向と就職適応力について

黄英哲 ((台湾) 台中科技大学)

07. インドネシアでの入国前講習における技能実習生と日本語教師の意識調査

-当事者は日本語学習や介護について何をどのように捉えているか-

小川美香 (筑波大学 人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム)

大槻薫子 (筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム)

08. 難民支援における小規模日本語教室の取り組みと課題

鈴木美穂 (目白大学)

09. 日本の高等教育機関における国際・留学生教育支援体制の現状と課題

有川友子（大阪大学国際教育交流センター）

10. 中国人留学生在日本留学により獲得する中国文化への理解とその変容プロセス

鄭若男（広島大学）

11. 振り返りシートの計量テキスト分析から見た日本語学習者の気づきの変容

案野香子（静岡大学国際連携推進機構）

12. 職場における日本人社員の文化的ダイバーシティ風土の認識と価値観との関連

加賀美常美代（目白大学）

小松翠（東京工業大学）

文吉英（明治学院大学）

守谷智美（岡山大学）

13. 日本企業に勤めている中国人元留学生社員の留学経験の活用と仕事満足度

—属性の差異に着目して—

黄美蘭（帝京平成大学人文社会学部）

14. 在日留学生の異性との関わりにおける対人行動上の困難と対処

田中共子（岡山大学社会文化科学研究科）

奥西有理（岡山理科大学）

15. 初等教育における在外校と私立小学校のオンライン交流の実践研究

：小グループでのやり取りを通して

三ツ木由佳（立命館小学校）

西尾由香（シアトル四つ葉学院）

堀江未来（立命館大学）

16. 補習授業校での学びに関する一考察—OBOG への質問紙調査の結果から—

岡村郁子（東京都立大学）

17. 災害時における外国人支援—豪雨災害の事例からみえてきたもの—

徳井厚子（信州大学）

18. 日本語教育を専門としない教員による支援ノウハウの集積と発信～NHK for School の模索と課題～

草谷緑（NHK エデュケーショナル）

19. 学校教員に求められる素養としての外国人児童生徒教育に関する基礎的探究

米本和弘（東京学芸大学）

20. 日本語指導が必要な児童生徒を学習活動に包摂する—教員養成課程学生の教材リライト活動から—

浜田麻里（京都教育大学）

21. 外国人児童生徒教育のケース教材を活用した教員研修—教員自身による研修立案の事例—

小池亜子（国土舘大学）

古川敦子（津田塾大学）

22. 南米ルーツの子どもの日本語学習過程に関するケーススタディ

：高校進学を果たした2名の子どもによる振り返りから

齊藤美穂（神戸大学）

23. 教員の異文化接触の事例検討—スペインの初等音楽科を対象として—

桐原礼（信州大学）

24. 言語景観プロジェクト—受け手と送り手に焦点をあてた考察—

阿部祐子（国際教養大学）